

14ポイントMSゴシック(中ゴシック)

日本味と匂学会誌(一般発表) 論文集原稿レイアウト見本

注意: 余白を余分にとっています

柏柳 誠¹・中田 俊輔²・鈴木 教世³

(¹北海道大・院薬、²パルマ大・理・蹴球、³北海道大・院理・行動知能)

12ポイントMS明朝(細明朝)
姓名の間に全角スペース
著者間を中点で区切る

10ポイントMS明朝(細明朝)

目的

体裁が統一された論文集号を刊行するために、皆様に書式の統一をお願いいたしております。

1行空白

12ポイントMSゴシック(中ゴシック)
センター合わせ
全角でスペースを入れる

方法

皆様のご協力もあり、書式が統一された論文集号を発刊することが可能となっております。ただし、Wordの使用 방법에習熟されていない方や、新規に会員となられて論文集の執筆になれていない方などが、指定された書式の論文を必ずしも投稿されていない場合があります。

1行空白

結果

このために、論文の投稿の前にチェックリストで論文執筆の取り決めを従っていることを確認していただいた上、著者の署名をお願いしております。今回、注意すべき点が視覚的にわかりやすいように、見本を改訂いたしました。

1行空白

考察

ただし、本見本は注意点を示すもので、余白を大きくとっており、行数と字数が指定とは異なっています。あくまでも、上下・左右の余白は、2.0 cm と設定して下さい。この見本は、レイアウトの参考にするだけにとどめて下さい。

1行空白

文献

- 1) 柏柳誠: 味と匂学会誌論文集原稿書き方改訂版. 味と匂誌 10, 111-112 (2003)
- 2) Kashiwayanagi M and Suzuki N: How to prepare the manuscript. *Chem. Senses* 102, 221-225 (1956)
- 3) Kashiwayanagi M: How to prepare the manuscript. *In Taste and Smell*. Nakada S and Nakamura H (eds), Hokudai Press, Sapporo, pp. 11-12 (1999)

How to prepare the manuscript for Japanese Journal of Taste and Smell Research. Makoto Kashiwayanagi¹, Shunsuke Nakada² and Noriyo Suzuki³, ¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Hokkaido Univ., Sapporo 060-0812, ²Dept. Football, Fac. Sci., Parma Univ., Parma 123-4567, ³Grad. Sch. Sci., Hokkaido Univ., Sapporo 060-0810; yanagi@hucc.hokudai.ac.jp, Fax +81-11-706-4991

脚注区切り線を "underbar" で中央まで線を引く

1 頁目にのみ脚注として、題名、著者名(full name)、所属、所在地、郵便番号、最後に";;"で区切り、問い合わせ先の E-mail address と Fax 番号を入れる。

11ポイント Times New Roman
行間隔 13ポイント (論文執筆要領の脚注の注意点参照)

メールアドレスにはアンダーラインを付けないことと

図および表の挿入例

1) 1 頁幅の図の挿入

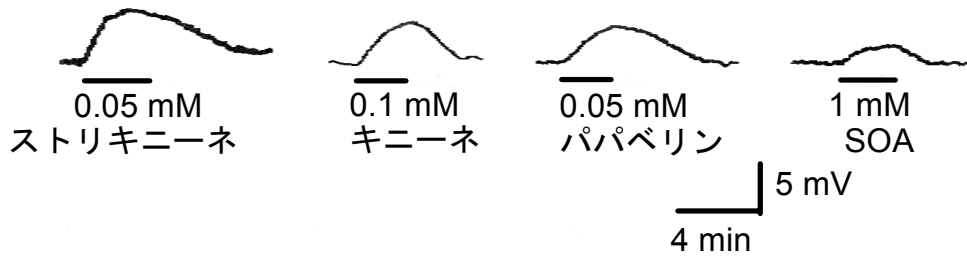


図 1 苦味物質に対する応答パターン。

図の下に本文中に挿入
10 ポイントの MS 明朝 (細明朝) と
Times New Roman

2) 1 頁幅に 2 つの図を挿入

太字を使わない
フォントを縮小し
ても見えるくらい
の大きさで

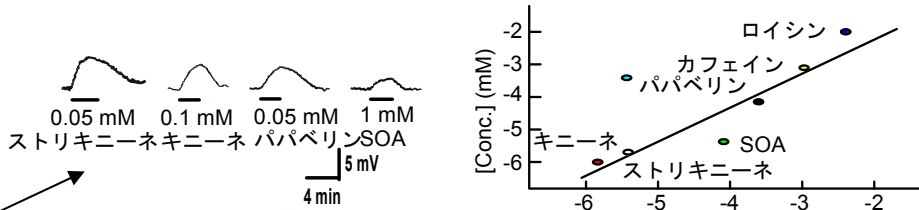


図 1 (左) 苦味物質に対する応答パターン

図 2 (右) 苦味物質の相関

図の下に本文中に挿入
10 ポイントの MS 明朝 (細明朝) と
Times New Roman

3) 1 頁幅の表の挿入

表 1 年ごとの順位

年	1999	2000	2001	2002
順位	3	1	14	16

表の上に本文中に挿入
10 ポイントの MS 明朝 (細明朝) と
Times New Roman

4) 1 頁幅に 2 つの表を挿入

表 1 (左) 順位の移り変わり

表 2 (右) 場所の移り変わり

Year	1999	2000	2001	2002
Place	14	13	3	5

表の上に本文中に挿入
10 ポイントの MS 明朝 (細明朝) と
Times New Roman

Year	1999	2000	2001	2002
Spot	14	13	3	5